

高橋五郎 いしかはし 評論家、翻譯家。安政二年二月二十日越後國生れ。

昭和十年九月一日歿（八六—一九三五）。本名吾良。號杏堂、筆名高橋生。

G・T、G・T、G・T生等。諸方塾に學ぶ。牧師S・R・ブラウン

の學漢とほく聖書の翻譯を助勢。うち『六合雜誌』、次ぐ『國民之友』

を舞臺に評論活動。その後國民共學會の教鞭を執ること四十年に及ん

だ。

著譯書 『神道新論』（本名、明治十二年九月前版、十字屋書舖・十字

屋善七發賣）、『佛教新解』（同、明治十六年四月、自成堂）、『國民

之友・第一集』（合著、明治二十年十一月上田捨吉編輯出版、大阪・

國友館）、『日本各勝圖解・第壹編（PICTORIAL DESCRIPTIONS OF THE

AMOUS PLACES OF JAPAN）』（英譯、三木貞一漢譯、小西豐之助編、明治二十一年二月

五日九春堂）、『展摩大前書註釋』（校閱、明治二十一年八月十五日

東京聖教書類會社）、『人類學一斑（並評凉人論）』（明治二十一年

十月十七日）（二書店）、ジエームス・イザラツク著『不可思議論』

（譯、明治二十二年九月六日米國聖教書類會社）、イムブリー著『哥

羅曲書註解』（譯、明治二十六年八月十四日自刊）、J・W・リー著

『人生哲學』（譯、明治二十六年十一月二日）（二館）、サツドマン

纂輯『再版創世紀註釋』（譯、明治二十七年十一月東京二神學校）、

スマイス著『基督教道徳學』（譯、明治二十九年二月十六日）（二

館）、『一年有半と舊式の唯物論』（内題「無靈無神哲學駁論」中江

兆民一年有半と續一年有半を評す）（明治二十四年十一月二日）（二館

・一）（二館文活）、『世界の範論』（明治二十六年四月）（二十五日前川

文榮閣）、『人生觀』（明治二十六年八月十六日前川文榮閣）、『最

『一元哲學』 (明治二十六年九月) 二十五日 前川文榮閣)、 『神祕哲學』

(明治二十六年十一月四日 皇文堂)

『戰爭哲學』 (明治二十七年一

月十六日 前川文榮閣)、 ゲーテ原著

『フアウスト』 (譯、明治二十七年

八月) 二十五日、再版・九月十二日、

訂正二版・十月十五日、訂正五版・

大正二年八月) 二十日 前川文榮閣)、

『宇宙觀』 (明治二十七年十一月十

二日 前川文榮閣)、 フランシス、ベ

ーコン著 『ベーコン論說集』 (譯、明治四十一年十一月五日 文藝社)、

岩野泡鳴・馬場孤蝶・戸川秋骨譯 『譯註近世英文學』 (編、明治四十一年四月) 二十五日 有朋堂書店)、

『對照雙譯英語雜俎』 (譯註、明治四十一年五月一日 建文社)、

『英語正確使用法』 (明治四十一年七月五日 實

業之日本社)、 エマーソン著 『處世論』 (譯、明治四十三年二月十日

文藝社)、 『靈怪の研究』 (明治四十四年七月五日 嵩山房)、 『基督

活殺論』 (明治四十五年二月十五日 豐文館)、 『世界文學讀書觀』 (譯、

明治四十五年四月) 二十六日 内外出版

協會)、 カーライル著 『カーライル

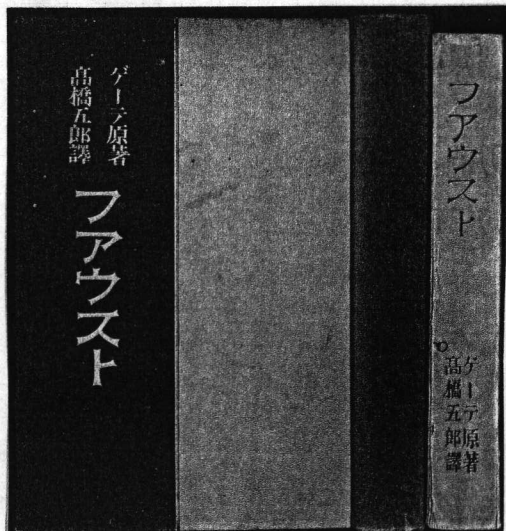
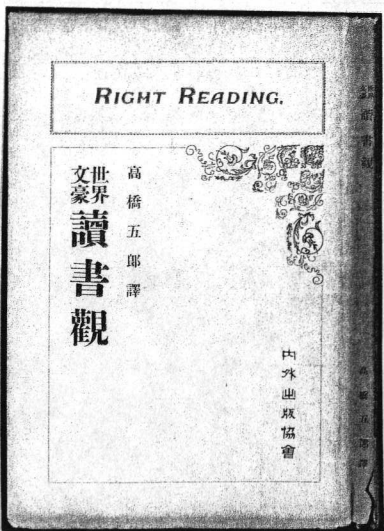
論說集』 (譯、大正元年十月十五日

有倫堂)、 『エビクテタス遺訓』 (譯、

大正元年十月十八日 文藝社)、 『皇

ウレリヤス 帝願想錄』 (譯、大正元年十一月十日 文藝社)、 『ゲーテ文

集』 (譯、大正二年一月六日 有倫堂)、 『和漢雅俗ひらけ辭典』 (大正増訂)



(編著、濱野知二郎補訂、増訂改版・大正二年六月十日大阪實文館・六
 合館)、エマーソン著「社父論」(譯、大正二年九月十五日進堂)、
 カラスチス著「^{我聖}公會遺訓之教理」(譯、再版・大正四年五月二十日兵
 庫・日本聖公會出版社)、カアライエ著「佛國革命史」全四卷(譯、
 第一卷・大正六年一月二十日、第二卷・四月二十日、第三卷・七月
 二十五日、第四卷・十月二十日國民文庫刊行會「泰西近代名著文庫
 ・第二部」、コゲーテ感想錄」(譯、二版・大正六年四月十一日東光
 社出版部)、^東「人生哲學茶話」(大
 正七年五月十日大燈閣)、^東「偉人歸
 終語錄」(大正八年七月五日大燈
 閣)、ケルレル、ウヰリヤム・ロビ
 ンソン、ワルレス著「人種改善學」
 (譯、大正八年九月二十日大燈閣)、
 「^東幽明の靈的交遊」(大正十年九月十日廣文會書店)、^東「茶話天狗」
 (昭和六年一月十日廣文堂)等。
 文獻、織田得能著「涼人論和解」(再版・明治二十八年六月二十日哲
 學書院、高橋左良論駁)等。

